

輸出事業計画

※申請者名：株式会社ハーヴィインターナショナル 品目：配合香辛調味料（SEASONING）

1. 輸出における現状と課題

【現状】

・当社は台湾への輸出に取り組んでおり、輸出品目は配合香辛調味料（アサリシーズニング、ペペロンチーノシーズニング、新ベーコンベース、トリュフプラス、鉄鍋炭火焼プラス、鉄鍋プラス）である。嗜好の傾向が日本とは違うため、台湾在住シェフと共同で改良・改善を行い、4回/年の提案会（試食会）を実施し、期待に則した評価をいただいている。

【課題】

・国外ユーザーからグローバル・スタンダード（HACCP・ISO22000）の取得が要求されている。
・台湾への輸出を拡大するためには、日本の高品質原料を使った製品を提供していくとともに、現地法人（子会社）社員と細かな協議、調整を行っていくことが課題である。

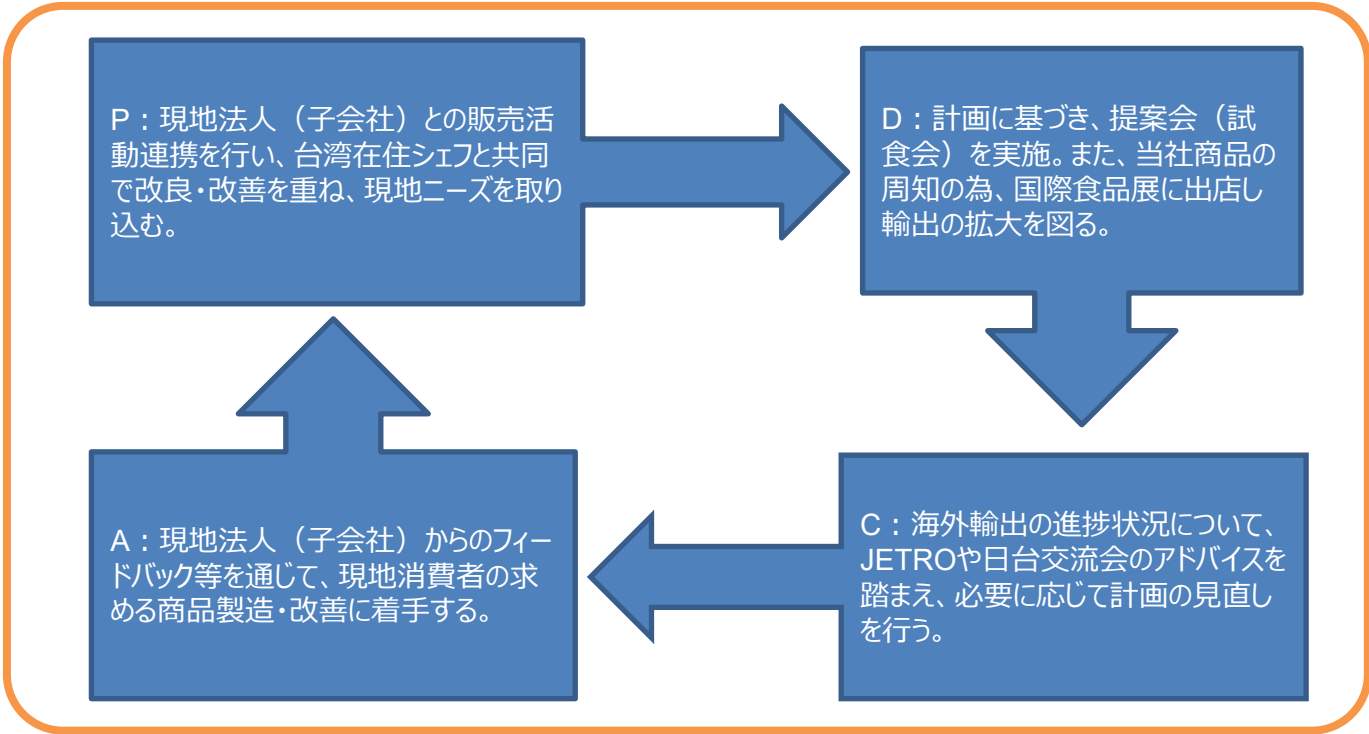
2. 輸出事業計画の取組内容

・現在ISO9001・食添GMP・埼玉版HACCPを取得しているが、更なる輸出拡大にあたりグローバル・スタンダード（HACCP・ISO22000）の取得が要求されている。県の公設試からの専門家派遣を受け、現工場の現状と問題点を確認したところ、その仕様に添わず、大幅な生産設備、生産施設の改善改修が必要と指導され、整備を行うこととした。
・添加物の規制基準の違い、農薬規制基準の違いについては、その都度、公的機関で検査を行って確認している。
・希望規格原料の調達が難しく、生産設備機能が不十分のため、日本の高品質原料を使った製品を提供していく。

輸出事業計画

※申請者名：株式会社ハーヴィインターナショナル 品目：配合香辛調味料（SEASONING）

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

		現状 「（令和3年度 ＜令和2年11月～ 令和3年10月＞）」	目標年 「（令和9年度 ＜令和8年11月～ 令和9年10月＞）」
輸出国：台湾	輸出額(円)	32,904,100	100,000,000